# 腰椎手術を受けられる方へ：術前【患者用パス】(術後HCUへ帰室予定の方)

患者氏名

| 月　　日 | | | |
|---|---|---|---|
| | 入院日 | 手術当日（術前） | 手術当日（術後） |
| 達成目標 | ★入院生活について理解できる<br>★手術について理解できる | ★発熱がない | ★疼痛コントロールができている |
| 内服<br>点滴 | ★普段飲んでいる薬を看護師に渡してください<br>★下剤内服（寝る前） | | ★補液・抗生剤<br>★内服あり<br>★必要時痛み止め<br>★必要な方は輸血 |
| 処置<br>検査 | ★必要時爪切り<br>★必要時浣腸 | | 手術室にて★レントゲン　★心電図　★採血<br><br>★酸素吸入 <br>★心電図モニター<br>★血栓予防のフットポンプ<br>★ドレーン（創に入っている管） |
| リハビリ | | | |
| 安静度 | ★安静の制限はありません<br>★コルセットの持参有無・採寸を確認します | ★手術が始まるまで安静にしてお待ちください | ★ベッド上安静で寝返りは看護師と一緒にします<br>★血栓予防のため足首をよく動かしてください<br>★術後HCUに入室します |
| 清潔 | ★シャワー<br>介助が必要な方は介助いたします | ★シャワー不可 | |
| 排泄 | ★病室または病棟内のトイレを使用してください <br>★浣腸（必要時） | | ★バルーンカテーテル（尿の管） |
| 食事 | ★22時以降、禁食<br>★医師の指示により飲水できます | ★禁食です<br><br>★《朝一番とオンコール～15時までに手術の方》<br>アルジネードウォーター・OS-1は午前7時までに摂取してください<br>その後飲水はできません<br><br>★《15時以降手術の方》<br>アルジネードウォーター・OS-1は昼11時までに摂取してください<br>その後飲水はできません | ★腸の動きを確認後流動食開始 |
| 説明 | ★医師から手術・治療法について説明があります<br>★看護師から入院生活や手術に向けて準備することなどの説明があります<br>★服薬・持参薬等の確認を薬剤師がします<br>★麻酔医から麻酔の説明があります<br>★手術室看護師からの説明があります | | ★手術から戻られたら家族の方に説明があります |
| 合併症の可能性 | ★転倒（転ばないように気をつけてください）<br>★尿路感染（水分を多く摂りましょう。目標　1L/日以上） | ★貧血（食事をしっかり摂りましょう）<br>★深部静脈血栓症（足首の運動をしましょう） | |
| 備考 | | | |

注1　経過および入院期間は現時点で想定されているもので、状態によって前後することもありますのでご留意ください。

# 腰椎手術を受けられる方へ：術後【患者用パス】(術後HCUへ帰室予定の方)

| 月日（日時） | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 手術後1日 | 手術後2日 | 手術後3・4日 | 手術後5～7日 | 手術後1週 | 手術後2週 |
| 達成目標 | ★食事摂取できる<br>★転倒予防ができる | ★食事摂取できる<br>★転倒予防ができる | ★疼痛コントロールができている<br>★転倒予防ができる | ★疼痛コントロールができている<br>★転倒予防ができる | ★疼痛コントロールができている<br>★転倒予防ができる | ★退院後の生活について理解できる |
| 内服点滴 | ★内服再開<br>★抗生剤 | | | | | |
| 処置検査 | ★必要時採血・レントゲン<br>★必要に応じて創の消毒をします<br>★血栓予防のフットポンプ<br>★弾性ストッキング | | ★レントゲン<br>★採血 <br>★ドレーン抜去<br>（出血量・状態により抜去のタイミングは医師が判断します） | ★採血 | | ★抜糸 |
| 安静度リハビリ | ★ベッド上でのリハビリを始めます<br>★コルセットを装着し痛みに合わせて動いていきます<br>★初回歩行は医師、理学療法士と行います<br>★ベッド上安静中、寝返りは看護師と一緒にします<br>★血栓予防のため足首をよく動かしてください<br>★一般病棟へ戻ります | | ★創部の管が抜けたら一人で寝返りを打つ練習をします<br>★歩行が安定したら一人で歩行可能です<br>★コルセットの着脱練習を行います<br>★ベッドでは仰向けはなるべく避けてください | | | ★杖歩行練習<br>★階段練習<br>★自宅の状況に応じたリハビリ<br>★退院 |
| 清潔 | ★清拭 | ★適宜清拭・洗髪 | | | ★創の状態に応じてシャワー浴ができます | |
| 排泄 | 車イスか歩行器でトイレに行けるようになったらバルーンカテーテルを抜きます | | | | | |
| 食事 | ★軟菜、普通食へと変更 | | | | | |
| 説明 | ★治療のため必要な姿位と危険姿位を説明します | | | | | |
| 合併症の可能性 | ★創感染（創に直接触れたり絆創膏をはがしたりしないでください）<br>★疼痛（痛みが強いときは我慢せずに教えてください）<br>★神経麻痺（しびれや麻痺があれば教えてください） | | | ★肺塞栓・深部静脈血栓症（足首の運動をしましょう。水分を多く取りましょう）<br>★転倒（許可が出るまで看護師と一緒に歩きます）<br>★循環動態変動（身体に異常を感じた場合や気分が優れない時はすぐに知らせてください） | | |

注1　経過および入院期間は現時点で想定されているもので、状態によって前後することもありますのでご留意ください。